

好況の東北電力 豊水と値上げで純利増

東北電力は、この三十二年度上期(四、九月)の営業収支状況を手とめた。これによると、四月上旬は異常な水不足に悩まされ、電力制限を余儀なくされたが、悪化を余儀なくされたが、七、八、九の三ヶ月が四年ぶりの豊水に恵まれ、さらに七月十四日から実施された電力料金の値上げも手伝い、湯水準備引当金三億八千四百円をひきわけて、純利益を確保することができた。同社上期における出水率平均は一二・三%のため、電燈量が三億七千九百万キロワットで前年同期より九百万キロワット減少、電力量はいたっては、夏季送電を中止するはすの特約、調整電力まで供給できたので、三十四億六千九百万キロワット時となり、

前年同期より四億三千四百萬キロワット時の大幅な供給増加である。これにより電燈量は四十一億四千八百四十四、前年同期の三十五億六千九百万キロワット時より六千九百万キロワット増加、電力料が九十五億四千四百円で前年同期の七十五億八千四百円より十九億五千六百円とそれより大幅な収入増となった。このため他の電力会社からの購入電力料十六億四千四百円、電燈および異常電費などからの購入電力料八億六千七百円、社債発行金平均費四億四千九百万円を差引いた湯水準備引当金が三億八千四百円となった。これを前年同期の三億二千三百円に比べると六千九百万円多くなっている。湯水準備金が電力料の増加分に比べて少ないのは四月初旬の異常な水不足に起因するものである。

ふしたためとみられ、この場合七、八月末までかかっていた。したがってこの湯水準備引当金は八、九の二ヶ月間に積み立てられたものである。

九月期は多量に供給され、この一億三千九百万円の黒字だが、前年同期は一億二千四百円の赤字であった。昨年はこの上期を全くと、九月は湯水の不足で湯水準備引当金を取崩したことになる。

また六億四千六百円の純利益金とされたのは、水のがよくなったこと、七月十四日から料金値上げがきく作用している。これにより配当金(年一割二分)も確保でき、やがて訪れる冬季湯水も昨年度程度のものなら十分乗切れる資金面の準備が整ったわけである。

苦しい設備資金供給

五カ月に及ぶ苦しい金融市場にもかかわらず、産業界の設備資金は相対的に根拠があるが、日本興業銀行、日本長期信用銀行によると、電力、鉄鋼、海運など基礎産業および一般企業に対する金供給量はかなり不足を認めている。このため各企業の設備計画はこれからの資金面で懸念をもち、大幅削減を余儀なくされるものとみられる。

興、長同行に対する企業からの借入期待額は当初年度三億三千二百円(興銀二千二百億円、長銀一千万円)に上ったが、両行とも金融の逼迫による資金繰り難から、これを約半分の一千二百億円(興銀八百億円、長銀四百億円)に引き下げた。

このうち上期(四、九月)中に約三億三千五百六十億円(興銀二千二百六十億円、長銀四百四十億円)が融資された。残りの七割が下期に繰越された。ところが市中銀行の資金繰り窮乏から、利付金融の消化が不振なため、下期中の債権発行による

資金調達の純額は両行でせいぜい三億一千三百億円程度しか見込めず、結局約五百四十億円の供給不足となる。しかも興、長も下期の融資方針として供給可能額の大幅削減を認めている。長期資金供給が主である興、長銀の資金繰りがこのように悪化し、当初の貸出予定額の大縮減が免れないとみられる。各企業の設備計画は、この縮減をいかに消化するかを急務とする。この消化策として興、長銀の下期融資計画の通り、

▽興銀II年度間の貸出予定額八百億円のうち上期中に二百六十億円を融資し、残りの五百八十四億円を下期に繰越した。しかし下期の供給可能額は百七、八十億円しか見込めず、約四百億円が供給不足となる。また供給可能額である百七、八十億円のうち電力、鉄鋼、海運の三大産業に約百億円は回さなければならぬので、一般産業に対しては残りの七、八十億円しか成メス五千五百万円余額について行

銀行預金再び増勢

日銀貯蓄増進部発表の九月中旬の貯蓄実績によると、全金融機関の一般預金月増増加額は決算期末前月の銀行預金の大幅増加もあって千六百二十八億円と四月以来初めて千億円を越える増加を示したが、前年同期は千八百五億七千七百八十八億円と前年同期の増加額が六・〇%、本年度も前年同期(千六百二十八億円)に対する増成率は二・九%(前年同期は千六百二十八億円)に達した。この結果年度初め(四月)からの増加額は三千七百六十七億円となり、前年同期の増加額(二千四百四十四億円)の増成率は六・〇%とまとまった。

月増増加額を金融機関別にみると、相互銀行、信用金庫、生命保険の預金が引き続き好調のほか、低額だった銀行預金も月増は千六百二十八億円増加(前年同期千七百十二億円増)を示した。これに準じて農業協同組合、郵便貯金は消費の活発化、米代金の歩止り悪化などが影響を及ぼし、特に郵便貯金が本年度は初めて五億円減少したのが目立った。

やり過ぎる乳牛のエサ

農林省は本年度から一万年連続事業として乳牛の栄養管理指導を開始したが、三十七回の一回の乳牛の栄養調査結果がまとまった。これは乳牛の集団検査といえるもので、今回の調査は青森の六一、八月に主要酪農県三十一道府県の成メス牛五千五百万頭について行

厚生医療指定病院 外科 整形外科 呼吸器科 皮膚科 小児科 泌尿器科 産科 小児科 理学療法科 レントゲン科 肢体不自由者相談所

財団法人 竹林病院

院長 竹林貞吉

本院 平市三米通り 電話二一六〇八
分院 平市役所前 電話二二七四

毛糸を楽しむ季節

一流メーカー品の
タイヤモト毛糸・ニッケル毛糸
英商製ハイハイ毛糸・ドレクラン
カールヤン・ナイロン入りクビ毛糸
どんな場面でもどんな種類でも豊富に揃えてあります

ハンモトヤ糸店

平市銀座街 電話一四四

石塚省三氏茶掛展

平市公会堂にかかげられてあります。霊峰「富士」の作者として親しまれている本県の生んだ邦画壇の逸才石塚省三画伯が心魂を傾けた最近の小品数十点を一堂にあつめ「石塚省三氏茶掛小品展」を催します。いずれも珠玉の秀作揃いで、何とぞ御観賞下さいませよう。お願ひ申し上げます。



石塚画伯略歴
明治廿八年 本県三春町に生る。安積中学校卒。大正十二年 東京美術学校卒。松岡陣屋画伯に師事。大正十七年 「浜の家」が帝選に入選以来連続十数回入選。代表作に「春の内海」「富士」「音羽の護国寺」「近江八景」などがある。久遠寺御殿格天井、秩父宮殿下献作などあり。音羽護国寺月宮殿奉納作など。画壇に石塚時代を現出した。

石塚省三氏個人展

主催 石塚省三氏個人展
後援 三和新報社

作品
磐城の海 秋の霊山 龍胆の秋 南鶴天
水仙 富士(五景) 磐梯の秋
雪の吾妻 山茶花 密柑(二景) 紅白梅
カーネーション 出づる日 密比 須黒 秋高 紅しどり
八つ手 観音梅 大菊 黒梅 果砂
壮丹 観音梅 大菊 黒梅 果砂

期日 十一月八日九日
会場 マルトモホール

新しいデザインの
ケーキができました

ご贈答用にお土産にご利用下さい

開花亭

平市五丁目 TEL 342

遺産によるコストダウン
58年型 9.5馬力

ベンリイ号

125cc ¥125,000

県下代理店
平ホンタモーター
平市長橋町25番地 TEL2,111

お待ちください
味覚の秋にさわしく
秋七子が食べ頃となりました

若ひな料理

丸唐あげ二〇〇円より
一羽でも出前致します

食事のデパート
不二屋
平市中央通り TEL886・1750

常磐線 上り	終着	5.50	14.55	小川郷行
	湯本発	1.18	16.35	郡山行
急 急 急	平発	1.05	6.31	小川郷行
		2.32	6.02	郡山行
		5.19	5.31	小川郷行
		5.40	6.02	郡山行
		5.49	9.15	小川郷行
		6.17	6.31	郡山行
		6.43	6.53	小川郷行
		7.15	7.28	郡山行
		8.18	8.31	小川郷行
		9.30	9.56	郡山行
		9.42	9.52	小川郷行
		10.10	10.24	郡山行
		11.00	11.13	小川郷行
		12.55	13.08	郡山行
常磐線 下り	終着	13.45	15.34	小川郷発
	平発	1.58	15.50	郡山発
急 急 急		2.52	17.23	小川郷発
		3.37	18.57	郡山発
		5.28	7.09	小川郷発
		5.49	7.09	郡山発
		6.17	8.27	小川郷発
		6.43	8.15	郡山発
		7.15	10.43	小川郷発
		8.18	10.43	郡山発
		9.30	12.15	小川郷発
		9.42	12.15	郡山発
		10.10	13.16	小川郷発
		11.00	13.16	郡山発
		12.55	15.12	小川郷発
		13.50	15.12	郡山発

ラジオ福島 今晩のき

ぼくらが作った校旗
つた校旗

ラジオ福島「日本エッセイ」
（後6:5）きょうの四回

ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」

ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」
ラジオ福島「命のこぼれ」

歌と笑いのゲーム

歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム

歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム
歌と笑いのゲーム

世界館

世界館 (12日)
世界館 (12日)
世界館 (12日)
世界館 (12日)

世界館 (12日)
世界館 (12日)
世界館 (12日)
世界館 (12日)

七五三御引物用に

七五三御引物用に
七五三御引物用に
七五三御引物用に
七五三御引物用に

七五三御引物用に
七五三御引物用に
七五三御引物用に
七五三御引物用に

大平化粧品店

大平化粧品店
大平化粧品店
大平化粧品店
大平化粧品店

大平化粧品店
大平化粧品店
大平化粧品店
大平化粧品店

丸丹タクシー

丸丹タクシー
丸丹タクシー
丸丹タクシー
丸丹タクシー

丸丹タクシー
丸丹タクシー
丸丹タクシー
丸丹タクシー

飯田カメラ店

飯田カメラ店
飯田カメラ店
飯田カメラ店
飯田カメラ店

飯田カメラ店
飯田カメラ店
飯田カメラ店
飯田カメラ店

山口の自転車

山口の自転車
山口の自転車
山口の自転車
山口の自転車

山口の自転車
山口の自転車
山口の自転車
山口の自転車

ハセカワ化粧品院

ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院

ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院
ハセカワ化粧品院

味覚の秋

味覚の秋
味覚の秋
味覚の秋
味覚の秋

味覚の秋
味覚の秋
味覚の秋
味覚の秋

お好みおでんと

お好みおでんと
お好みおでんと
お好みおでんと
お好みおでんと

お好みおでんと
お好みおでんと
お好みおでんと
お好みおでんと

スカタ

スカタ
スカタ
スカタ
スカタ

スカタ
スカタ
スカタ
スカタ

富士商会

富士商会
富士商会
富士商会
富士商会

富士商会
富士商会
富士商会
富士商会

パール

パール
パール
パール
パール

パール
パール
パール
パール

テレビは吉電気

テレビは吉電気
テレビは吉電気
テレビは吉電気
テレビは吉電気

テレビは吉電気
テレビは吉電気
テレビは吉電気
テレビは吉電気